



祝 辞

第35回沖縄青少年科学作品展の開催を、心からお喜び申し上げます。

沖縄電力株式会社におかれましては、長年にわたり沖縄青少年科学作品展を通して、沖縄県の科学教育の振興や、優れた人材の育成に貢献されていることに対し、深く感謝申し上げます。

また、本日、表彰を受けられる皆さん、誠におめでとうございます。皆さんの作品は、どれも独創的な発想や工夫が凝らされ、力作揃いの、大変素晴らしいものばかりであります。

昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞した教授は、何度も挫折しながらも、チャレンジを繰り返し、偉大な研究成果を生み出したといわれております。

受賞者の皆さんをはじめ、科学に興味のある多くの青少年たちが、飽くなき科学的な好奇心と探求心、チャレンジ精神を持ち続けられれば、将来沖縄からノーベル賞受賞者が誕生することも夢ではありません。高い目標をもって、努力を重ね、優れた科学者に成長されることを期待しております。

沖縄県においても、「科学技術を担う人づくり」に向け、子どもたちの「科学する心」を育む各種施策を積極的に推進して参ります。

お集まりの皆様におかれましては、今後とも科学を通じた青少年の健全育成に、お力添えをいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、沖縄青少年科学作品展のますますの御発展を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

平成25年2月23日

沖縄県知事 仲井眞 弘多



ご挨拶

第35回沖縄青少年科学作品展の表彰式にあたり、お祝いの言葉を申し上げます。

この作品展は、「本県の科学教育の振興と地域産業の担い手としての人材育成」を目的に、昭和54年からはじまり、今年で35回を数えております。これまで多くの児童生徒が作品展への出品を通して、科学への興味・関心を高め、夢や希望を育んでまいりました。長きに渡り本作品展を主催しておられます沖縄電力株式会社の関係者をはじめ、支えてくださる多くの皆様に深く感謝と敬意を表します。

本日受賞される皆さん、誠におめでとうございます。本日の受賞は、皆さんが日頃から持っている疑問や、不思議に思ったことを解明しようと取り組んだことが高く評価されたものであります。皆さんの科学を探究する心に大変感心しております。

また、御指導された先生方、そして常に励ましてくださっている保護者の皆様には、心からお祝い申し上げます。

昨年は、全国野生生物保護実績発表大会において大宜味村立喜如嘉小学校が最高賞の環境大臣賞、北部農林高校が日本鳥類保護連盟会長褒賞を受賞しております。また、エコデンレース全国大会においては那覇工業高校が4連覇を達成し、宮古工業高校も準優勝を果たしております。

これらのことは、本県の児童生徒が全国トップレベルの研究・開発力を持っていることを証明するものといえます。

今回の入賞作品を見ましても、豊かな発想とアイディアにあふれた作品や、長期間にわたってねばり強く研究を続けたレポートなど、いろいろな視点から取り組まれており、皆さんが熱心に取り組んだ成果には目を見張るものがあります。きっと、見学する方々を感動させてくれるものと確信しております。

沖縄県教育委員会におきましても、児童生徒の皆さんが、郷土の自然を愛し、楽しく科学を学べるようにするため、地域の自然や文化遺産など、地域素材の積極的な教材化を推進するとともに、先端研究施設において研修を実施する等、理科教育の充実・発展に努めているところであります。

今回、受賞された児童生徒の皆さんには、本日の受賞の喜びと感激を忘れることなく、科学する楽しさや未知の世界を探究する心、最後までやり遂げるねばり強い態度をこれからも持ち続けて頑張っていたいただきたいと思います。

むすびに、この事業のために多大な御尽力を賜りました沖縄電力株式会社をはじめ、運営委員の皆様、並びに関係各位に心から感謝を申し上げ、祝辞といたします。

平成25年2月23日

沖縄県教育委員会
教育長 大城 浩



主催者挨拶

皆さま、おはようございます。第35回沖縄青少年科学作品展の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年で35回を数える本作品展は、応募数の増加や作品レベルの向上に伴い、今や沖縄を代表する科学作品展となりました。これも、沖縄県内の児童・生徒の皆さん、学校関係者の皆さまをはじめ、関係各位の多大なるご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本作品展には今年も多くのお応募があり、いずれの作品も素晴らしい出来栄でした。特に優秀と認められ、本日、表彰を受けられる児童・生徒の皆さん、おめでとうございます。また、日頃から熱心にご指導された先生方、ご父母の皆様に対しても心よりお祝いを申し上げます。

昨年、京都大学 山中伸弥教授が iPS 細胞の開発で、ノーベル生理学・医学賞を受賞しました。彼の偉大な功績も、最初は素朴な疑問や興味から強い信念と地道な研究を重ね、人類の未来に役に立つ大きな成果となったものです。

みなさんには、キャッチコピー「科学と作る僕らの未来」をイメージした今回のポスターにもありますように、本から飛び出すようなひらめき、素朴な疑問や興味に対する探究心は世の中の発展につながるという気持ちを持ち続けてほしいと思います。

私たち沖縄電力も、皆さんのそのひらめきや発想が、私たちの心や生活を明るく照らすものとなることを願い、これからも、本作品展を通して沖縄県の科学教育の振興と人材育成を応援してまいります。

最後に、ご多忙の中、本日ご臨席を賜りましたご来賓の方々、本作品展に多大なご協力をいただきました沖縄県、沖縄県教育委員会、アメリカンスクールを含め理科教育に携わる多くの先生方、並びに関係者の皆様から感謝申し上げ、主催者の挨拶といたします。

平成 25 年 2 月 23 日

沖縄電力株式会社

代表取締役社長 石嶺 伝一郎



実行委員長挨拶

第35回沖縄青少年科学作品展の開催にあたりご挨拶申し上げます。

1979年にスタートした本作品展も皆様のおかげをもちまして35回を迎えることができました。関係者の皆様へ感謝申し上げます。

今回は「科学と作る僕らの未来」を作品展のテーマとして、青少年の科学に対する興味・関心を喚起し、沖縄県の科学教育の振興に資するとともに地域産業の担い手となる人材育成に寄与することを目的に開催いたします。

本作品展には、小・中・高等学校、アメリカンスクールから、総数142点もの応募がありました。小・中学校部門には、各学校における審査の後、各地区の作品展を経て、「沖縄県児童・生徒科学賞作品展」で優秀と認められた作品が展覧されています。

高等学校部門には、分析力優れた多くの作品が展覧され、これまでに沖縄から全国、世界へと羽ばたき、評価を得ている作品もあります。アメリカンスクールからは、日本の生徒とは一味違う、ユニークな発想と着眼点で取り組んだ作品が集まりました。

このような素晴らしい作品の中から、めでたく表彰を受けられる児童・生徒の皆様、ご指導が評価され指導者奨励賞を受けられる皆様、誠におめでとうございます。日頃から熱心にご指導された先生方、ご父母の皆様にも改めて敬意を表したいと思います。

今回は、全入賞作品の展示に加え、上位入賞者によるポスターセッションを行います。研究するうえでの工夫点など今後の参考になると思います。その他にも、県内の高等学校の先生方による、プロ顔負けの「科学実験ステージショー」、科学の楽しさを体験できる「チャレンジ実験コーナー」、ロボットコンテスト全国大会へ常連出場校が展覧する「ロボットコンテストコーナー」、新たに、より深く科学への興味を抱くための企画として、講義形式により学べる「科学教室」を設けております。

本作品展を通して、科学は難しいものではなく、身近で楽しく、興味深いものであると皆様に実感していただくと共に、沖縄県の科学教育の発展の一助となれば幸いです。

最後に、本作品展の開催にあたり、多大なご支援・ご協力をいただきました沖縄県、沖縄県教育委員会、小・中・高等学校、高等専門学校およびアメリカンスクールの理科教育に携わる先生方、ならびに関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成25年2月23日

沖縄青少年科学作品展

実行委員長 知念克明

(沖縄電力株式会社 常務取締役)